

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 8 月 27 日 (2020.8.27)

【公開番号】特開 2018-102481 (P2018-102481A)

【公開日】平成 30 年 7 月 5 日 (2018.7.5)

【年通号数】公開・登録公報 2018-025

【出願番号】特願 2016-250574 (P2016-250574)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 7 月 13 日 (2020.7.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技機が設置される島設備から供給される遊技球を貯留可能な貯留領域を有し、
前記貯留領域に貯留されている遊技球を、所定の球通路を経て払出装置により賞球とし
て払い出す遊技機において、
前記貯留領域の外側には、前記貯留領域に貯留されなかった遊技球が位置し得る誘導傾
斜部を備え、
前記誘導傾斜部は、前記誘導傾斜部上に位置する遊技球が該誘導傾斜部上に留まらない
ように遊技機の前方から後方に向けて下り傾斜しており、
前記誘導傾斜部の下り傾斜によって流下する遊技球は、前記球通路の上方から前記球通
路内へ落下するように構成され、
前記誘導傾斜部は 1 方向に傾斜している
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

この種の遊技機は、パチンコ機等を設置している遊技ホール島設備から供給された遊技
球を球タンクの貯留部に貯留し、貯留部に貯留されている遊技球を払出装置により賞球と
して払い出すようにしている。（例えば、特許文献 1）。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、貯留領域外に位置してしまった遊技球を有効に活用することを課題とするものである。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、

遊技機が設置される島設備から供給される遊技球を貯留可能な貯留領域を有し、

前記貯留領域に貯留されている遊技球を、所定の球通路を経て払出装置により賞球として払い出す遊技機において、

前記貯留領域の外側には、前記貯留領域に貯留されなかった遊技球が位置し得る誘導傾斜部を備え、

前記誘導傾斜部は、前記誘導傾斜部上に位置する遊技球が該誘導傾斜部上に留まらないように遊技機の前方向から後方向に向けて下り傾斜しており、

前記誘導傾斜部の下り傾斜によって流下する遊技球は、前記球通路の上方から前記球通路内へ落下するように構成され、

前記誘導傾斜部は1方向に傾斜している

ことを特徴とする。

また、本発明とは別に開示する別発明の手段を以下に示す。

手段1：遊技機において、

「遊技が行われる遊技領域が前面に形成されている透明平板状のパネル板と、

該パネル板の前面に設けられている前面部材と、

前記パネル板における前記前面部材の特定部位の後方となる部分に、前記前面部材を通して前方から視認可能に形成されており、側面から入射された光により発光装飾させられる装飾パターンと

を具備している」ものであることを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0090

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0090】

本発明によれば、貯留領域外に位置してしまった遊技球を有効に活用することができる